

東京オリンピック・パラリンピックを目指して
「プロジェクト桜」～純国産アーチェリー弓具の復活～

江戸川区「平成29年度 Made in Edogawa ものづくり推進プロジェクト」受託事業が始まる

株式会社西川精機製作所（本社 東京都江戸川区：代表 西川 喜久）は、江戸川区内のものづくり中小企業を中核メンバーとした「プロジェクト桜」を立上げ、2020東京オリンピック・パラリンピックへ向けて「純国産アーチェリー弓具の復活」への挑戦をスタートいたします。

かつて日本国内では、複数の国産メーカーが日本人の体型に合ったアーチェリー弓具を造っていましたが、今では完全に撤退してしまいました。

現在、日本人の競技者はみな、海外製の弓具を使って競技をしています。

四十の手習いでアーチェリーを始めた町工場の社長は、日本産の材料、日本の技術に自信をもっていたこともあり、なんとか「純国産」の弓具が復活できないかと関係者の支援を受けながら開発を続けてきました。

一方、江戸川区では、2020東京オリンピック・パラリンピック開催決定をきっかけに、区内の中小企業グループによる新たなものづくりの取組みを推進するプロジェクトがこの春スタートしました。

地元企業が造った競技用具で日本人メダリストが誕生する。その競技用具の普及が進み技術力があがる。関わった企業が大きくなり地域が活性化する。そんな夢を応援するプロジェクトです。

この受託事業として、「純国産アーチェリー弓具復活」への熱い思いを持つ西川精機製作所をリーダーとした「プロジェクト桜」がこのたび立ち上がり、開発が本格的にスタートしました。

現在開発中のものに改良を加えて来春までに試作品一号モデルを開発し、フィールドテストを重ねます。

そのデータを基に2018年度中に初号機を正式リリースする予定です。

なお開発中のアーチェリー弓具は一昨日（10/30）NHK『超絶 凄ワザ！』「東京オリンピック全力応援 究極の競技用具をつくれ！」で放送されました。

（再放送予定：11月3日（金）NHK総合午前1時25分～午前2時15分）

■「プロジェクト桜」メンバーについて

- ・プロジェクトリーダー：株式会社西川精機製作所 代表取締役 西川 喜久
URL:<http://nishikawa-seiki.co.jp/>
- ・サブリーダー：株式会社秋東精工 代表取締役社長 柴田 忠利
URL:<http://www.syuto.jp/>
- ・開発：株式会社田島製作所 営業開発部 取締役部長 田島 正一
<https://www.tajima-tokyo.com/>
株式会社折井電装 代表取締役 折井 政仁
URL:<http://www.oriidenso.co.jp/>
- ・広報：株式会社ウエルフィールド 代表取締役 井田 和義
URL:<https://www.well-field.co.jp/>
- ・渉外：株式会社都市計画同人 藤井 元斗
URL:<http://www.tdoujin.co.jp/>
- ・事務局：株式会社ユピア 代表取締役 向井 規浩
URL: https://communicationba.jp/YUPIA_Inc/

■本件に関する問合せ

株式会社西川精機製作所

○事務所：松島工場 〒132-0031 東京都江戸川区松島1-34-3

TEL 03-3674-3232 FAX 03-3674-3236

問合せURL:<http://nishikawa-seiki.co.jp/contact/>



■ リリース掲載 URL:<http://prj-sakura.com/>

